

# 高次元医療データ循環による大学病院機能強化事業

- 診療に埋もれた医療データを教育・研究へ還流する構造改革 -

和歌山県立医科大学

## 和歌山県の現状と課題

- 全国に先駆けて進行する「高齢化」
- 医師の地域偏在
- 若手外科医師不足の深刻化
- 臨床研究へエフォート不足

## 病院長マネジメント

教育・研究機能の強化を目的として病院マネジメントを実施  
(教育・研究が効果的に実行される環境整備を継続的に実施)



学長・病院長



和歌山県知事

## 和歌山県との連携

本学附属病院が「県民医療の最後の砦」として、和歌山県の各種計画や方針を踏まえ、地域医療提供体制の維持・強化に貢献

## 研究基盤の充実

### 教育研究環境の整備

**オンライン文献検索環境の整備**  
最新の学術情報を効率的に活用

**研究推進専門職の配置**  
診療による知見を研究へ繋げるための支援など



**文書生成AIの実装**  
日常の診療から教育研究への円滑な移行を支援



### Imaging DX 画像診断の「データ科学化」

「高次元データ収集基盤」の整備・活用  
次世代型画像診断技術による高精細画像データを活用し、医学研究を推進



効率的・効果的な画像診断能力の向上  
高精細画像データのライブラリ化  
VR実習で、希少疾患や微細構造を体験

効果的な診療参加型実習の促進  
教育効果の大幅な向上や指導医の負担軽減等

### Surgical DX 手術室の「データ生成・解析ラボ化」

「手術プロセスデータ基盤」の整備・活用  
次世代型手術支援ロボットによる医療データを活用し、先進的手術研究を推進



効率的かつ効果的な外科医育成  
熟練医の動作データをライブラリ化  
VRによるシミュレーション教育を実施

### 地域連携の強化

派遣先での研究環境の維持  
文献検索や研究推進専門職と相談など、派遣先での研究環境を維持し、地域全体の研究基盤を活性化



市中病院医師への高度医療教育  
既存の遠隔医療システム・青洲リンクを通じた市中病院医師への教育機会の提供

## 教育研究における対策

地域を支える将来の医療人材が不足し、地域医療体制の弱体化が懸念

## 到達目標

総合診断能力や手術技能を備えた、地域医療を支える高度医療人材の育成

## 教育基盤の充実

「Imaging DX」や「Surgical DX」により得られたデータの共有により支援

「教育」と「研究」の充実が、最強の地域貢献となる